

みんなで防ごう鳥獣被害！



守ろう身不知柿の郷

会津農林事務所農業振興普及部

1. 背景・ねらい

■背景

- ・御山地区（北御山・南御山）は会津若松市の南部に位置し、会津身不知柿が特産品となっている。
- ・山林に接しているため、野生動物が出現しやすく、ツキノワグマ等による果樹等の食害やイノシシによる掘り起こしが発生していた。
- ・令和4年には北御山地区で人身死亡事故が発生しており、被害防止に向けた持続的な取組の必要性が高まった。
- ・電気柵はH26年から設置されているが、設置方法や設置後の管理が不十分である。



【北御山地区】

【南御山地区】

■ねらい

- ・地区住民が主体的かつ継続的な鳥獣被害対策に取り組み、農地の保全や農作物被害を低減する。
- ・近隣集落と連携し、地域が一丸となって鳥獣による農作物被害を低減する。
- ・継続的な農業生産活動及び農業者の安全性が確保される。

2. 活動内容

1 鳥獣に関する状況把握と対策の検討

- ・住民への聞き取り調査により、集落内の出没・被害状況を把握した。
- ・住民と関係機関による事前の現地調査を実施し、被害状況や対策の実施状況を把握した。
- ・調査結果を踏まえ、電気柵の設置ルートなど、実施する鳥獣被害防止対策について検討した。



図1：住民と関係機関による
現地調査

2 鳥獣被害防止対策の実施と改善

- 電気柵設置ルートの検討および電圧監視システムの設置
 - ・現地調査により、電気柵を住民の管理しやすく、電気柵の電源をより日の当たる場所に移動させ、電気柵管理が適切かどうか確認した。
- 電気柵管理体制の見直し
 - ・電圧監視システムの結果および現地調査の結果から、雑草繁茂による漏電が問題になっていることが判明した。草刈りの頻度を増やし、漏電を防ぐことができた。
- 防護柵改善実証
 - ・センサーカメラの設置により、イノシシ・ツキノワグマが電気柵をくぐって侵入していることが判明した。そのため、電気柵の慣れを改善するためにリボンワイヤー、物理的な侵入を防ぐためにワイヤーメッシュ柵を設置した。



図2：効果検証



図3：WM柵設置

3. 活動成果

【北御山地区】

- イノシシ・ツキノワグマ侵入ルートにリボンワイヤー・WM柵を設置することで、鳥獣被害が大幅に減少した。



イノシシ・ツキノワグマの侵入を防ぐ方法を住民が理解した！

- 電気柵管理体制の改善

朝方に電圧が下がっていたが、日当たりなどを改善することで一日中通電するようになった。

しかし、令和7年10月になり、日照時間の減少による充電不足により電圧が低下し、ツキノワグマの侵入が確認される。



予備のバッテリー購入及び既存の電気柵設置ルートを区切って、電源を増やす。

住民が中心となって鳥獣被害が減少できた！

【南御山地区】

- 電気柵管理体制の改善

5月中旬から1ヶ月おきに、草刈り・除草剤散布を実施することで、一日中通電するようになった。

- センサーカメラの映像から、南御山地区におけるケモノは隣の地区からの侵入していると特定した。来年度、隣の地区で電気柵を延長するため、来年度の被害状況を確認する。

- 中間・実績検討会の参加人数が増えており、住民の鳥獣被害防止対策に対する意識が醸成されてきた。



みんなで鳥獣被害防いでいくべ！！

近接地区と連携した持続的な鳥獣被害防止対策実現へ！

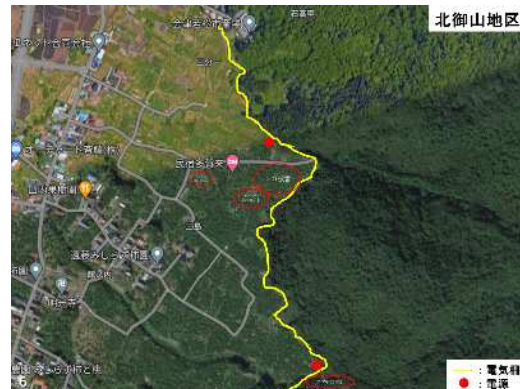
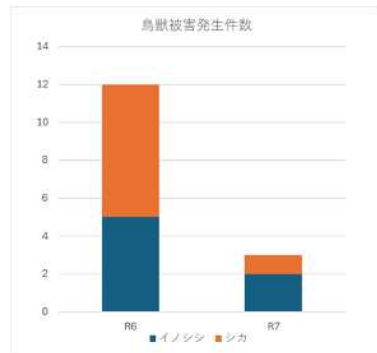


図4：R7北御山地区鳥獣被害（10月18日まで）

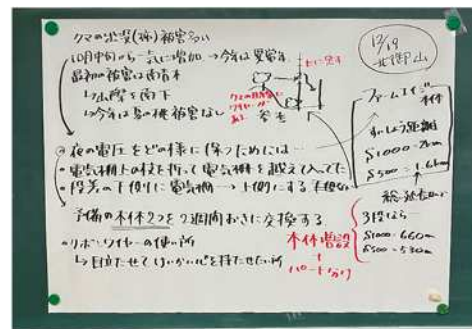


図5：北御山地区電気柵管理体制



図6：侵入ルート特定

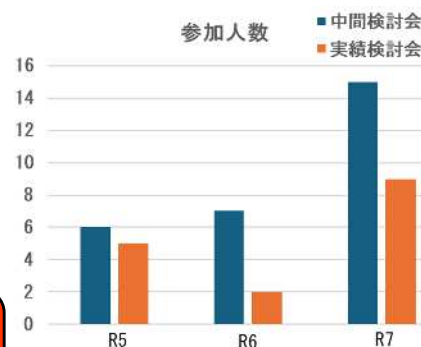


図7：鳥獣対策の意識醸成

4. 今後の活動

【北御山地区】

- ・研修会等での事例紹介を通して、集落ぐるみのツキノワグマ対策の更なる波及を図る。

【南御山地区】

- ・住民が持続的に鳥獣被害防止対策を実施できるように支援する。
- ・集落ぐるみのイノシシ対策の更なる波及を図る。